

中央大学国際経営学部 企業訪問報告書

訪問先

富士通株式会社

訪問日時

2025年12月04日(木)

訪問概要・目的

ICTを用いた社会課題解決と、それを支えるイノベーション戦略を学ぶことを目的とする。

担当 CVS

飯嶋、村松、脇坂、船越

報告書作成者

中央大学国際経営学部 二年 伊木 美聡

参加学生数

16人(内、1年生5人、2年生11人)

今回の企業訪問では、富士通株式会社の事業や社会に対する取り組み、職種ごとの仕事内容、キャリア形成制度について直接学ぶ機会をいただき、自分自身の将来のキャリアについて考えるきっかけとなった。

富士通はデジタル時代のビジネスを支えるITサービス企業であり、事業はサービスソリューションやハードウェア製品など複数のセグメントで構成される。サービスソリューションはシステムインテグレーション、クラウドサービス、コンサルティング、ソフトウェアや運用サービスなどが含まれており、主要な事業分野を構成している。訪問時には、国内の医療機関で広く利用されている電子カルテシステムや、小惑星探査機「はやぶさ」の軌道計算技術などが紹介され、富士通が社会インフラとして果たす役割の大きさを理解した。また、顧客からの要望を分析し、そこから浮かび上がる社会課題を出発点として具体的なサービスや技術の提供につなげる戦略は、単なる顧客対応にとどまらず、社会全体の課題解決に貢献する視点が一貫していることが印象的であった。

訪問では、中井様から会社概要や事業の特徴に加え、社員一人ひとりが「My Purpose」を持ち、それを会社の Purpose と重ね合わせて挑戦することの重要性についてご説明いただいた。富士通では、社員一人ひとりの想いを「My Purpose」として明確化し、それを会社の Purpose と重ね合わせて挑戦する取り組みで、社会課題解決や持続可能な世界の実現につながるとされており、学生として自分の価値観や目標と企業理念を照らし合わせることの大切さを学んだ。

その後、米山様の進行でグループワークを行い、ソリューションエンジニアやセールスなどの職種ごとの業務内容を実際の事例をもとに体験した。職種を選ぶことがキャリアの全てではなく、職種内で専門技術やマネジメント能力を磨き、計画性やリーダーシップなど自分の強みを発揮することがキャリア形成において重要であることを実感した。また、自律的にキャリア選択ができる「ジョブ型採用」や、フレックスタイム・テレワーク制度、など、社員の自律的な学びとキャリア形成を支援する制度についても理解を深めた。

訪問の後半では、中央大学の OBOG である井上様と前川様から、社員としての経験や職場での働き方について具体的な話を伺った。社員は協調性が高く、チームでの業務を重視しており、仕事とプライベートの両立を図りながら主体的に働く文化が根付いていることも印象に残った。文系出身者でも活躍できる環境が整備されており、学業の積み重ねや自己研鑽がキャリア形成に直結することも実感できた。

今回の訪問を通して、「My Purpose」を軸に自分自身の価値観や目標と企業理念を重ね合わせて挑戦することの重要性を改めて学んだ。富士通の Purpose や理念は、社会課題解決を軸とした事業展開やキャリア形成制度と一貫しており、主体的に学び、職責を選択することで、自分らしいキャリアをデザインできることを理解できた。

訪問結果

※訪問時の写真

企業説明の様子



ワークショップの様子

